

平成20年度

事業報告書

平成21年6月

財団法人関西文化学術研究都市推進機構

目 次

. 概 況	1
. 管理運営活動	2
. 広報活動事業	3
. 企画調整事業	4
. 受託調査事業	10

概況

関西文化学術研究都市は、昭和62年に制定された「関西文化学術研究都市建設促進法」に基づき、ナショナルプロジェクトとして、産学官の連携のもと、都市建設が進められ、現在、本都市はサード・ステージの段階に入った。

平成20年4月、「サード・ステージ推進会議」第3回総会において「サード・ステージ・プラン」の実現化に向け、今後取り組むべき13のテーマの進捗状況及び課題、平成20年度の活動方針について審議し、具体的な取り組みに係る関係機関の諸調整をおこなった。

また、本都市から多数生まれている研究開発成果の産業化、多様な分野での産学官連携・共同研究等、新産業創出に向けて、けいはんな新産業創出・交流センター等と連携して取り組むとともに、都市内の研究機関、企業、市民の連携交流を促進するため、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトや平城遷都1300年記念事業との連携に向けた取り組み等を推進した。国際化に関わる交流事業としては、本都市と中国北京市・中関村科技園区との間で締結した交流促進協定に基づき、「中国の環境問題、特に水の問題に関する訪中・訪日交流」等の環境ビジネス交流の企画・推進を行ない、11月には「サイエンスパーク国際会議」を開催した。

こうした中、本都市の立地環境・基盤整備も順調に進展しており、施設立地については、研究開発型産業施設及びベンチャー企業の誘致等により、平成20年度に入ってから新たに8施設が立地し、施設数は113となった。基盤整備については、平成20年5月には南田辺・狛田地区において綴喜都市計画事業南田辺北特定土地地区画整理事業（地区愛称「同志社山手」）のまちびらきが行われ、平成21年3月には相楽都市計画事業木津南特定土地地区画整理事業が完了した。また、道路整備については、平成20年6月に木津川左岸地域の南北幹線道路として整備が進められている山手幹線事業の京田辺市薪工区が開通するなど利便性が向上した。

[参考：平成20年度新規立地施設（8施設）]

- 平成20年5月 京都プレス工業株式会社（木津地区）
- 6月 株式会社イチグチ京都光台研究所（精華・西木津地区）
- 7月 株式会社ウィル（精華・西木津地区）
- 7月 株式会社ジーネス（精華・西木津地区）
- 9月 株式会社サンライズジャパン（精華・西木津地区）
- 10月 株式会社エム・システム技研京都テクノセンター（木津地区）
- 12月 森下仁丹株式会社大阪テクノセンター（氷室・津田地区）
- 平成21年2月 株式会社京都栄養化学研究所（精華・西木津地区）

・管理運営活動

<理事会、評議員会等の開催>

本年度の各会議体で以下のとおりの議案審議を行い、全ての議案において、異議なく承認された。

(1) 理事会

第65回理事会(平成20年6月17日(火)京都東急ホテル)

- 第1号議案 住友ホールの寄附
- 第2号議案 平成20年度中小企業の技術・事業基盤強化等補助事業の実施
- 第3号議案 平成19年度事業報告
- 第4号議案 平成19年度収支決算
- 第5号議案 評議員の選任
- 第6号議案 総合企画委員会委員の選任
- 第7号議案 運営委員の選任

第69回理事会(平成21年3月17日(火)けいはんなプラザ)

- 第1号議案 財団法人関西文化学術研究都市推進機構と「けいはんな新産業創出・交流センター(大阪オフィスを含む)」、「関西文化学術研究都市建設推進協議会」との事業見直し
- 第2号議案 平成20年度補正収支予算
- 第3号議案 平成21年度事業計画
- 第4号議案 平成21年度収支予算
- 第5号議案 評議員の選任
- 第6号議案 総合企画委員会委員の選任
- 第7号議案 運営委員の選任

(2) 評議員会

第45回評議員会(平成20年6月3日(火)京都東急ホテル)

- 第1号議案 住友ホールの寄附
- 第2号議案 平成19年度事業報告
- 第3号議案 平成19年度収支決算

第47回評議員会(平成21年3月11日(水)京都東急ホテル)

- 第1号議案 財団法人関西文化学術研究都市推進機構と「けいはんな新産業創出・交流センター(大阪オフィスを含む)」、「関西文化学術研究都市建設推進協議会」との事業見直し
- 第2号議案 平成20年度補正収支予算
- 第3号議案 平成21年度事業計画
- 第4号議案 平成21年度収支予算
- 第5号議案 役員の選任

(3) 運営委員会

第52回運営委員会(平成20年5月16日(金)けいはんなプラザ)

- ・第45回評議員会及び第65回理事会の議案について審議

第53回運営委員会(平成21年2月19日(木)けいはんなプラザ)

- ・第47回評議員会及び第69回理事会の議案について審議

(4) 学術委員会

第29回学術委員会総会(平成20年11月29日(土)けいはんなプラザ)

- ・「関西学研都市奥田懇談会提言30周年記念公開ワークショップ」の開催
(「高度な知識経済社会の持続可能な発展の諸条件と学術研究都市の役割」についてワークショップ形式で討議した。)

企画運営小委員会 計5回開催

< 関西文化学術研究都市建設推進協議会の運営 >

本都市の建設理念に相応しい都市建設を目指し、その早期実現を図ることを目的として活動している関西文化学術研究都市建設推進協議会の事務局として、関係府省等に対して、政府予算要望活動等を実施した。

(重点要望事項)

- ・サード・ステージ・プランに基づく推進施策の実施
- ・本都市における税制上の優遇措置
- ・科学技術基本計画に基づく施策の本都市への展開
- ・新産業創出基盤強化のための学術・研究開発機能の高度化
- ・ユビキタス特区の推進
- ・次世代ロボット研究開発の推進
- ・都市建設の促進
- ・文化機能の充実

・ 広報活動事業

1. 定期刊行物の発行事業等

本都市の状況を周知するとともに、本都市建設の促進に資するため、関係者及び一般の方々に、本都市のイメージ、計画、事業の進捗状況及び推進機構の活動状況等の広報を行った。

(1) 機関誌の発行

- 「関西文化学術研究都市報」の発行(月1回)
- 集刷版「関西文化学術研究都市」の発行(年1回)

(2) 都市紹介ビデオの更新(日本語版、英語版、中国語版)

(3) インターネットによる広報

本都市の魅力を積極的に発信していくため、学研都市ポータルサイトを運営した。

2. 関西文化学術研究都市視察会の実施

本都市への理解と協力を得るため、賛助会員や本都市を支援していただく方々を対象とした本都市視察会を実施した。

< 関西文化学術研究都市視察会 >

- [主催] (財)関西文化学術研究都市推進機構
- [日程] 平成21年2月13日(金)
- [視察先] 地球環境産業技術研究機構(RITE)、奈良先端科学技術大学院大学、NEC関西研究所・C&Cイノベーション研究所
- [参加者数] 15企業・団体 24名

3. 都市視察対応

本都市への施設立地促進並びに理解と協力を得ることを目的として、国内外の視察希望者、関係団体等に対し、立地施設等の協力のもと、本都市の紹介、各文化学術研究地区の整備状況等の視察案内を実施した。

国、地方自治体、関係団体等の方々に対する視察案内 延べ26件 219名
欧州、アジア等諸外国関係者の方々に対する視察案内 延べ12件 96名

4. メディア活用広報の実施

ニュースリリース発行等によりメディアを活用した広報活動を実施した。

. 企画調整事業

1. サード・ステージ・プランの着実な実行

関西文化学術研究都市サード・ステージ・プランの着実な実行を図り、都市としての総合力の発揮や高度な都市運営に取り組むため、サード・ステージ推進会議の事務局として、社団法人関西経済連合会、国土交通省、3府県等とともに、総会を開催するなどの活動を行い、サード・ステージ推進会議の各取り組みテーマの進捗状況及び課題、平成20年度の活動方針について審議した。

< 第3回総会 >

- [日程] 平成20年4月18日(金)
- [場所] けいはんなプラザ
- [主な議事] サード・ステージ推進会議取り組み状況及び平成20年度取り組み方針案

2. 「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの実施

子どもたちに学研都市ならではの「学びの機会」を提供する取り組みとして、地球環境産業技術研究機構(RITE)の研究者による出張授業や中・高校生による立地施設見学のプロデュースを行った。また、関西光科学研究所の研究内容をわかりや

すく紹介した科学絵本『レーザーで未来を拓く』の製作、及び学校関係者や市民と研究者との出会いを目的とした交流・連携イベント「科学のまちの子どもたち」フォーラムを実施した。

<第2回 「科学のまちの子どもたち」フォーラム2009>

[日程] 平成21年2月21日(土)

[場所] 国際高等研究所

[内容] 「けいはんな学研都市は子どもたちに何ができるか?」をテーマに、RITEによる出張授業や、精華西中学1年生による28ヶ所の一斉施設見学などの実践事例が報告されたほか、NECなど3つの研究機関の取組の紹介や「学研都市ならではの教育」の可能性をめぐって、参加者による意見交換が行われた。市民、学校関係者、研究者ら約110名が参加した。

3. 「平城遷都1300年記念事業」との連携に向けた取り組み

平成20年11月に設立認可された社団法人平城遷都1300年記念事業協会の会員として当該事業の推進に参画した。

また、当該事業が平城宮跡地区を中心に国家的、国民的事業として展開されることから、学研都市を国内外に情報発信する好機として、奈良県及び立地機関とともに、学研都市全体としての取組及び平城宮跡地区で展開される催事内容に相応しい最先端研究成果の活用についての検討とその実現に向けたコーディネート活動を行った。

4. 実証実験フィールドの展開に向けた取り組み

「けいはんな生活支援ロボット実証実験推進協議会」の事務局として、生活支援ロボットをはじめ多様な実証実験を研究機関とともに実施し、研究者と市民の交流、住民参加型の取り組み、情報発信等を実施した。

5. 国際化に関わる交流事業の実施

本都市と中国北京市・中関村科技園区との間で締結した交流促進協定に基づき、「中国の環境問題、特に水の問題に関する訪中・訪日交流」等の環境ビジネス交流の企画・推進を行った。

<日中環境ビジネス合同会議>

[日程] 平成21年3月16日(月)

[場所] けいはんなプラザ「ナイル」

[内容] 訪日団28名の受入(北京中関村科技園区、陝西省、宝鶏市)を実施。訪日団、企業、大学、行政等約100名が参加し、情報交換を行なうとともにビジネスマッチング・交流を深めた。

6. 立地施設交流事業の実施

本都市に立地する施設間の交流を深めるとともに、都市建設の促進及び連携を図る

ため、立地施設等を対象とした交流活動を実施した。

< けいはんな学研都市新年賀詞交歓会 >

[日程] 平成21年1月8日(木)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 立地施設、開発・交通関係、関係行政機関等から約200名が参加し、交流を図るとともに情報交換を行った。

7. けいはんな立地促進企画事業

本都市への研究施設等の誘致を促進するため、「けいはんな新産業創出・交流センター」をはじめ関係機関等との連携のもと、施設立地環境の情報発信及び企業情報の収集、施設誘致PR活動に取り組んだ。

(1) 外資系企業誘致の取り組み

外資系企業誘致を図るため、京都府、京都市、京都商工会議所等の企業誘致担当部門で構成する「京都外国企業誘致連絡会」に参画し、都市内外で外国企業へのアプローチを積極的に行った。

(2) 中小・ベンチャー企業誘致の取り組み

< ビジネスフェアへの出展等 >

新聞社、民間企業等が行うビジネスフェア等に参加し、本都市のPR活動を展開した。

(出展した展示会等)

・11月 ベンチャー・エキスポ2008

[場所] 大阪国際会議場

[内容] 企業誘致と学研都市ベンチャー活動PR出展

8. けいはんな新産業創出・交流センターの事業推進

「けいはんな新産業創出・交流センター」と連携して、文部科学省都市エリア産学官連携促進事業として採択された「ユビキタス生体計測ヘルスケアデバイス・システムの開発」プロジェクトの推進や「中小企業の技術・事業基盤強化等補助事業」の実施等、研究開発成果の産業化並びに産学官連携による産業育成に向けて活動した。

< 「平成20年度中小企業の技術・事業基盤強化等補助事業」の実施 >

けいはんな地域の中小企業等における連携と新規事業展開を図るため、「第3回けいはんなビジネスメッセ」を開催し、産学公連携の下、けいはんなが有する技術ニーズとのマッチングを促進し、機械工業を核とする地域の中小・ベンチャー企業の技術及び事業基盤の強化をはかった。

[日程] 平成20年7月17日(木)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 技術シーズ・事業ニーズ・商品の展示会
知財ビジネスフォーラム
テクニカルビジット

[参加者数] 企業関係者等620名

9. けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会の運営

「けいはんな情報通信オープンラボ」を有効活用し、産学官連携による情報通信分野の研究開発を推進することにより、新技術の開発、人材の育成、新産業の創出を図ることを目的にしている同研究推進協議会の事務局として、独立行政法人情報通信研究機構、総務省近畿総合通信局、社団法人関西経済連合会とともに活動を行った。

<けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2008>

[日程] 平成20年11月27日(木)

[場所] ブリーゼプラザ

[内容] オープンラボの最近の取り組みや研究成果を展示やデモンストレーションを通じて、協議会会員を中心としたICT関連企業に報告するとともに、国際競争力強化のための活動や国際連携のあり方等に関する議論を通して今後の協議会活動の方向性に関して広く意見交換を実施した。

[参加者数] 141名

<けいはんな情報通信オープンラボワークショップ2009>

[日程] 平成21年3月6日(金)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 協議会下の新世代ネットワーク分科会とユニバーサルコミュニケーション分科会の研究活動及び研究成果と関連するNICTの研究活動を紹介した。

[参加者数] 78名

10. けいはんなメーリングリストの運用

本都市に携わる機関・施設・大学で従事する人々の学術・研究又はそれに関わる情報を他のメンバーに周知し、交流の自主的な促進を図った。

[メンバー] 1991名

[投稿数] 1910件(平成19年度実績355件)

11. けいはんな都市賑わい創出事業

本都市のPR強化及び住民や研究者の参加・交流による賑わい創出を図るため、本都市の共同PR事業として秋の「オータムフェスタ2008」、春には、「ラ・プリマベラ2009」を関係機関と協力して実施した。

<けいはんな学研都市オータムフェスタ2008>

イベントカレンダーの作成など共同広報活動を実施した。

[開催期間] 平成20年9月13日(土)～11月30日(日)

[構成イベント数] 153件

[主要イベント]

高等研公開講演会

「幹細胞研究の可能性～幹細胞 細胞の再生システムの不思議～」

関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座2008」
奈良先端科学技術大学院大学公開講座2008
観月の夕べ

<けいはんな学研都市ラ・プリマベラ2009>

イベントカレンダーの作成など共同広報活動を実施した。

[開催期間] 平成21年3月14日(土)～5月31日(日)

[構成イベント数] 90件

[主要イベント]

NAISTサイエンスフェスティバル 09

オムロンけいはんな文化フォーラム「物と心と人間観と」

高等研公開講演会

「地震を知って震災に備える～京阪奈地域を中心として」

12. TBI (Technological Business Innovation) 技術経営セミナー2008の開催

技術を事業の核とする企業・組織が次世代の事業を継続的に創出し、持続的に発展するために、創造的かつ戦略的なイノベーションをマネジメントする技術経営(MOT)幹部向けセミナーを同志社ビジネススクールと共催で実施した。

[日程] 第1週:平成20年6月 1日(日)～ 3日(火)

第2週:平成20年6月19日(木)～21日(土)

[場所] 同志社ビジネススクール

[内容] 技術からの価値実現戦略

第1週:「技術、市場と組織能力」

第2週:「イノベーション・パラダイムとイノベーション・マネジメント」

[講師] ロバート E. コール

(UCバークレー校名誉教授 同志社大学客員教授)

藤本隆宏(東京大学大学院経済研究科教授)

アンドリュー M. アイザックス

(UCバークレー校MOTプログラムエグゼクティブディレクター)

高井紳二(同志社大学商学部教授)

D. ヒュー ウイッター

(オークランド大学ビジネススクール教授 同志社大学客員教授)

山口 薫(同志社ビジネススクール教授)

フィリップ・ピオジェール(同志社ビジネススクール教授)

北 寿郎(同志社ビジネススクール教授)

中田喜文(同志社ビジネススクール教授)

[参加者数] 17社22名

13. 関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座2008」の開催

けいはんなから「知の発信」をキーワードに、本都市の6大学が共同企画して、一般市民向けの市民公開講座を開催した。

[主催] 関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座」実行委員会

(財)関西文化学術研究都市推進機構、奈良先端科学技術大学院大学、

同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、
大阪国際大学)

[日程] 平成20年11月1日(土) 8日(土) 15日(土)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 第1回「運動すれば長生きできる?!」
「生涯の友としての音楽 音楽療法の可能性」

第2回「行動経済学ノススメ」
「酸化物薄膜が拓く近未来社会
メモリや燃料電池応用を中心に」

第3回「ミクロネシアの巨石文化」
「香りのちから アロマセラピーのホントの話」

[参加者数] 延べ242名

14. けいはんなフィールドミュージアム構想の実現に向けた取り組み

本都市地域の豊かな自然・環境資源、歴史・文化資産を活用したけいはんなフィールドミュージアム構想の実現に向けて、都市内8市町及び当推進機構で構成するけいはんなフィールドミュージアム運営委員会のもとで、ホームページによる情報発信などの取り組みを実施した。

<けいはんなフィールドミュージアム2008の実施>

[日程] 平成20年11月1日(土)

[内容] 同志社山手まちびらきや山手幹線新工区の開通と、発展をとげる京田辺市において、観音寺国宝十一面観音立像や地場特産品さらには同志社大学など、京田辺の新旧の文化を感じる約8kmのウォーキングイベントを実施した。

[参加者数] 76名

15. 関西文化学術研究都市内研究機関等における研究実態調査の実施

本都市内に立地する研究機関等における研究活動情報の共有化と学術・研究活動の一層の活性化を促進し、都市内及び近畿一円の学術・研究に係る主体的な連携・交流の拡大を図るため、平成19年度事業を対象とした研究実態調査を実施した。

16. 都市基盤整備等に係る取り組みの実施

本都市における道路ネットワークの整備促進の中でも最重点のひとつとなっている学研都市連絡道路(一般国道163号)の早期整備促進に向けて「学研都市連絡道路情報交換会」を国土交通省近畿地方整備局と当機構で今年度から発足し、2回開催した。

また、京都府が進める「低炭素社会を実現する交通のあり方を考える協議会」に参画し、精華西木津地区の立地施設の従業員を対象にした「職場向けMM導入調査」の取り組みを関係機関と連携しながら推進するとともに、公共交通利用環境の改善に向けた取り組みを実施した。(調査参加立地施設数29件)

．受託調査事業

1．平成20年度関西文化学術研究都市の施設立地誘導方策等検討及び合意形成推進業務 [委託者 都市再生機構]

「サード・ステージ・プラン」を踏まえた上で、学研都市での機能導入や研究施設の立地等を促進するため、具体的な取組みテーマについて調査・検討を行った。

2．サイエンス国際会議開催推進等業務の実施 [委託者 株式会社野村総合研究所] サイエンスパーク国際会議の開催

[主催] 国土交通省、(社)関西経済連合会

[日程] 平成20年11月20日(木)

[場所] けいはんなプラザ

[内容] 世界的に成功を収めつつある代表的なサイエンスパークの関係者を招き、本都市で活動する研究者、留学生、関係者、市民とともに、サイエンスパーク間の国際的な戦略提携の構築・交流の促進、都市環境の整備のあり方について意見交換を行った。

[参加者数] 130名

研究開発拠点に関する企業意向調査

関西文化学術研究都市や筑波のようなサイエンスパークを推進する上において、研究開発に携わる企業の研究開発に関連する施設の立地動向や立地の考え方などを把握することを目的として33社の企業を対象にヒアリングを行った。

学研都市デジタル地図の作成

本都市は過去20年余に亘る各クラスター開発により、道路・鉄道、100を超える研究開発等の施設、8万人を超える方々の住宅建設が進められてきた。今後もまちづくりが進むにつれ、種々の資料作成や国内外の来街者への案内に資することを目的として作成した。また作成後、適宜必要な表示情報を選択でき、あとの更新が比較的容易であり、かつ汎用性のあるシステムであるべきことから、ADOBE Illustrator を使用した、学研都市全体の地図、クラスター毎のデジタル地図の仕様とした。

3．関西文化学術研究都市(京都府域)オオタカ生息環境調査業務 [委託者 京都府]

京都府域における学研都市でのオオタカの地域個体群の保全を検討するための基礎資料作成のための調査を実施した。

4．平成19年度木津地区ミティゲーション検討業務の実施

[委託者 都市再生機構]

木津地区自然環境検討会の検討結果を踏まえ、木津地区まちづくり検討委員会(H17年度)によって示された土地利用ゾーニングとまちづくりの推進に向け、木津地区におけるオオタカのミティゲーションの実現のためのモニタリング調査他を実施した。